

●下松●

4組が全国大会へ

下松ジュニアソフトテニスクラブ

三月二十九日から三十一日まで千葉県白子町で開かれる第八回全国小学生ソフトテニス大会に出

場する下松ソフトテニスクラブ(原田正剛代表)の四組八人が二十六日、下松市役所で井川市長の激励を受けた。



張り切る選手たちと井川市長

同クラブは小学二年から六年までの男女六十七人が土、日曜に恋ヶ浜テニスコートで練習している。同大会には県予選四位までが出場でき、同クラブからは一昨年は一組、昨年は三組出場している。

今年十一月の県予選男子五年の部で山岡瑞樹(久保)・藤井一輝(花岡)組が優勝、大木正信(下松)・藤永雄也(花岡)組が三位、四年以下の部で藤井悠貴(花岡3)・松本剛人(下松4)組が準優勝、女子は花岡小四年の浜田紗帆・藤岡夏海組が三位になり、全国大会出場を決めた。

この日は原田会長(61)が「厳しい練習に懸命についてきてくれました」と紹介し、市長は

「勝負は相手にのまれないことが大切。楽しくプレーして思い出を作ってください」と励ました。

全国大会には各都道府県代表と開催地枠のチームが出場し、各部門の予選リーグで同じ順位ごとにトーナメント戦がある。山岡・藤井組は昨年出場してリーグ戦で二位だったが、今回は県予選で一位だった組は全国大会の予選リーグでは他の二位以下と試合するため、リーグ戦一位が期待される。

山岡君(11)は「去年は足首のけがで熱で力を出せなかった。今年は万全の体調で臨みたい」とマサキ一輝君と兄弟で出場する最年少の藤井悠貴君(9)は「一つでも多く勝ちたい」とマサキさんと藤岡さんは「大きな声を出してミスせずプレーしたい」と張り切り、水本隆行監督(47)は「四組出ることほめたにな

い。全国の舞台は強いハートが必要だが、皆で励まし合って頑張ってもらいたい」と期待していた。

日刊新周南 2009.2.27 第16021号

全国大会での活躍誓う

下松ジュニアソフトテニス市長に出場報告

全国小学生ソフトテニス大会(千葉県白子町、三月二十九〜三十一日)に出場する下松ジュニアソフトテニスクラブの選手らが二十六日、下松市役所を訪れ、井川成正市長に出場を報告した。

出場するのは、五年生男子の部が山岡瑞樹君(11)・久保小一と藤井一輝君(10)



井川市長を囲み全国大会での活躍を誓う選手たち

山口新聞 2009.2.27 朝刊

中国新聞 2009.3.4 朝刊



井川市長(手前)に意気込みを話す選手たち

「花岡小一のペア、大木正信君(10)・下松小一の藤永優也君(10)・花岡小一のペア、四年生以下男子の部が藤井悠貴君(9)・花岡小三年の松本剛人君(10)・下松小四年のペア、同女子の部が濱田紗帆さん(10)・花岡小四年の藤岡夏海さん(10)のペア。

昨年十一月に周南市庭球場で開かれた県予選で、各ペアがそれぞれの部で四位

以内に入賞。全国大会への切符を手にした。同クラブからの出場は三年連続三回目、四組が出場するのは最多という。

選手たちは同クラブの原田正剛会長、水本隆行監督らと来庁。山岡君が「実力を出し切って頑張りたい」と決意を述べ、井川市長が「優勝目指して頑張ってください」と激励した。

全国小学生ソフトテニス大会(三十一日、三十一日、千葉県白子町)藤井一輝君(11)のペアに三年連続で出場するのは昨年に続いての出場。予選リーグ全勝がニスクラブ(下松市)目標と口をそろえ、後の男女四ペア八人がこの衛の山岡君は「強いスのほど、井川成正市長トロークを打つ」、前に出場報告をした。衛の藤井君は「確実に

ソフトテニスで全国へ

児童8人下松市長に報告

八人は昨年十一月にボレーを決める」と意周南市であった県予選欲満々だった。

選会の決勝トーナメントで男女、学年別場は過去最多。水本隆でそれぞれ四強に勝ち行監督(47)は「初出場進み、大会出場を決めた六人は緊張もあるがた。井川市長は「相手ろうが、仲間同士で励にのまれず、思い切っまし合って頑張ってください」と激励しと期待する。

(中村哲郎)